



商品番号 6412

# レジガード1DF

1. 一般名 ウレタン樹脂パテ・含浸接着兼仕上材  
 2. 規格 社内規格  
 3. 特徴  
 1) 耐候性に優れている。  
 2) 上塗り工程を省略でき、工程・工期の短縮が可能である。  
 3) メッシュシートに対する含浸性に優れている。  
 4) 耐荷性、付着強度に優れている。

## 4. 塗料性状

項目	内容	
容姿	2液性	
荷姿	9kg セット(主剤:4.5kg、硬化剤:4.5kg)	
色相	N-7.5、N-6.5	
光沢	艶あり	
密度 (23℃)	硬化物	1.42
	揮発分	—
粘度(23℃)	ペースト状	
加熱残分	100% (理論値)	
引火点	SDS参照	
発火点	SDS参照	
爆発限界(下限~上限)	SDS参照	

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

## 6. 施工上の注意

- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な状態にする。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くす。
- 開缶後の主剤と硬化剤は当日に使いきる。
- 粘度調整剤、硬化促進剤は必ず指定の製品を用い、その添加量を厳守する。
- 施工は温湿度、含水率、天気、その他施工条件を厳守する。
- 施工間隔は規定時間以内で塗り重ねを終了する。尚、規定時間以上経過した場合は、材料表面をサンドペーパー或いはパワーブラシ等にて研磨し、ウェス拭き調整してから施工する。
- コンクリートの凹凸が激しい場合はプライマー塗布前に断面修復材による処理・不陸調整を行い、本製品の使用量を厳守する。
- コンクリートの巣穴が激しい場合は、本製品に7号珪砂を40%以内で添加することで巣穴充填性が向上する。なお、この工程は素地状態に応じて短縮可能である。

上記を必ず厳守すること。範囲外で使用すると性能不良や強度低下、密着不良等の原因となるため十分に注意する。また施工に際しては必ず施工要領書及び塗装仕様書を参照すること。

## 5. 塗装基準

項目	内容	
下地処理	—	
混合割合	主剤：50部、硬化剤：50部 (重量比)	
粘度調整剤	レジガード1DF粘度調整剤：0~3%	
硬化促進剤 <sup>*1</sup>	レジガード1DF硬化促進剤：0~1%	
施工法	施工方法	ヘラ・コテ塗り
	希釈率	粘度調整剤を用い0~3%
	標準使用量	1.00 kg/m <sup>2</sup>
	標準膜厚	—
	ウエット管理膜厚	—

注) 標準使用量は従来の実績値に基づき算出

表1. レジガード1DF硬化促進剤の添加量

項目	内容						
温度(℃)	-5	0	5	10	20	30	40
添加量(%)	1.00	0.88	0.75	0.30	0	0	0
9kgセットあたりの添加量(g)	90	79	68	27	0	0	0
可使時間(分)	30	30	30	30	30	25	20
半硬化(時間)	36	30	24	20	16	12	10
施工間隔	最小(時間)	36	30	24	20	16	12
	最大(日)	7					

注) 添加量は必ず精秤すること

## 7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	非危険物	非危険物
有機溶剤区分	—	—
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

## 8. 使用上の注意 [警告]

- (1) 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。